

一 日之影町総合教育会議 議事録 一

日時：令和5年9月25日(月)15:00～

場所：日之影町町民多目的ホール

出席者：町長、副町長、総務課長、人事・給与係長
教育長、木下委員、橋本委員、平野委員
教育次長、課長補佐、学校教育係長、指導主事、主事

(進行：総務課長)

町長挨拶 略

教育長挨拶 略

協議事項

1) 全国学力・学習状況調査から見る本町の教育的課題について

教育長：今年度の調査は4月18日、町内小学校6年生の国語と算数、中学生の国語、数学、英語で実施された。結果は、小学6年生の国語では全国平均をやや上回っている。算数はやや下回っている。中学3年生の国語は全国平均をやや上回っている。数学はやや下回っている。英語は下回っている。

テストを受ける人数も少数のため増減はある。しかし、学校の先生にお願いしていることは平均より上回っている下回っているよりも児童生徒一人ひとりの伸びがどうなのかを確認するようにしている。

指導主事：国語は全国平均を上回る結果となっているが、課題としては自分以外の他者が作成した文書を読み解いて、自分にとって分からないこと重要なことを選び回答することが苦手。また、複数の資料から読み取り分かったことを自分でまとめるというところが課題となる。

算数については、図形領域が課題となっている。図形は教科書等では2次元となる。奥行きや見る角度で形が変わるなどわかりづらいものになるので様々な支援が必要。小学6年生の算数は割合の問題が毎年1つの課題となってくる。中学校に向けてしっかりと押さえておきたい課題。

質問紙の結果は全国平均より15ポイント以上肯定的な意見があるものを計上している。日之影町の特徴としては先生との関係性が非常に良好であると読み取れる。国語、算数共に大切な教科であると自覚している。反対に全国平均

と比べて「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」という意見が多かったものは、「算数の勉強は好きですか」「算数の授業の内容はよくわかりますか」の数値を読み取ると自分にとって大切だと分かっているながらもできているという実感が無いのではと分析される。他にも主体性であったり課題を自分事として捉えて自ら行動し解決する力を身につけるべき力と考える。

中学校の結果としては、読み解く問題やひらがなを正しい漢字になおす問題も平均を下回っている。基礎・基本から応用的な問題を総合的に行う必要がある。

数学は、自分の言葉を使って説明することに課題が見られる。英語については全国的に良くない結果。相手の会話を理解した上でそれに対応する力等が必要。

質問紙についても小学生と同じような結果が出ている。「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の回答は英語が多い。子供達の理解度が低いまま授業が進行しているのではと想像している。

英語教育に関しては、小学3、4年生からの外国語活動、5、6年生の外国語、中学生の英語科と小中を一貫とした授業改善や支援が必要と考えている。

既に英語教育推進に向けて実施していることを紹介する。夏休みを利用しオンラインでALTとICTを使った英会話授業を行った。何気ない日常の会話を行ったが、子供達の評判も良かった。

社会教育分野でも国際交流事業として海外の方とふれあう体験をおこなった。新型コロナ感染症も5類に移行したのでシンガポールへ生徒派遣もできると考えている。また、教育委員会では英語教育に力を入れている自治体の視察を考えている。視察で得た情報を町の教育に還元し、授業改善につなげたい。

町長： 昔と今の勉強方法の違いは。

指導主事： 今までは知識を得ることが多かった。現在は、その知識をどう活用して表現するか求められる。身につけた知識を使って相手が求めている形に変換して表現する力が求められている。

教育長： 社会全体も同じ。仕事も同じ事を繰り返すのではなく、新たなことを取り組まないといけない時代になってきている。

副町長： 採用試験等でも読み解く力が必要な問題も増えてきている。子供達の主体性も必要。塾の事業を行っているが、評判はどうか。

学校教育係長： 他の地区の生徒と一緒に勉強することで競争意識など出てきている。全員休みなく受講していることから、評判はいいと感じている。

副町長： 町内だけでは、順位も固定的になりがちなので他の地域と勉強することはいいことと感じている。

教育長： 塾でのクラス分け等もあり他の地域の生徒と勉強することで緊張感や競争意識は高まっている。先のことを考えると非常に良い事業。

町長： 漢字の習得は、大人も感じている。ICTの活用と関係があると思うが良い方法はないのだろうか。

指導主事： ICTの活用で以前の勉強方法と変化してきている。昔ながらの方法も必要な場合もある。反復練習などそれぞれの良さを取り入れつつ指導していく必要がある。

2) 学校施設整備計画について

社会教育施設及び保健体育施設の整備計画について

教育長： 日之影中学校のエレベーター設置は計画とおり順調に進んでいる。

他にも学校校舎の老朽化や照明設備のLED化など改修を必要としている施設がある。社会教育施設も同様に避難所に指定されている施設もあり町民が日頃から利用している施設であるためLED化や改修を計画的に進めていく必要がある。

学校教育係長： 学校施設の整備については令和2年度に10年計画の学校施設整備計画を策定しています。背景には小中学校校舎、体育館がすべて築30年以上経過しておりこれまでも耐震補強等の工事を行ってきた校舎を含め今後大規模改修など計画的な施設整備が必要となってくる。

国の整備方針も令和3年度にバリアフリー法改正に伴い令和7年度末までに小中学校のバリアフリー化を緊急かつ集中的に整備することになっており、町としても本年度中学校のエレベーターや多目的トイレの設置も行っているところである。他の施設整備についても計画的な改修と計画的な財源の確保を目標に進める。令和6年度から令和10年度までの計画は別紙のとおり。特に水銀灯の製造中止を受け照明施設のLED化は優先的に進めていく必要がある。また、中学校校舎の外壁にクラックが発生しており、外壁の剥離もある。各状況を踏まえて工事を行っていく。工事規模を考え長期の休みである夏休みを利用し2カ年計画で行うことにしている。昨年話をした宮水小学校の給食室改修工事、エレベーター設置工事は、中学校の状況を踏まえて再度検討し令和9年度に先延ばし行うように計画を変更している。

教育次長： 社会教育施設、保健体育施設についても令和2年度に公共施設個別施設計画が策定されている。計画はRC（鉄筋コンクリート）工法の施設が対象となっている。木造施設は計画がないが、木造施設を含めた計画が必要になると考え別紙案のとおり計画を考えている。来年度から順次各施設をLED化していくが、令和7年度まで使用できる脱炭素化推進事業債など有効な財源の確保と事業の前倒しを関係機関等と検討していく必要がある。

その中でも最も大きな課題が令和12年度に計画している高巣野研修センター建替である。多額の費用が見込まれるため更に検討していく必要があると考えられる。

町長： 脱炭素化推進事業債の交付税措置はあるのか。

教育次長： 事業債の充当率は90%、交付税措置率は50%となっている。実質45%

副町長： ある程度の金額を把握するために見積を取っておく必要があるのでは。

教育次長： 社会教育施設では歌舞伎の館のホールのLED化は180万円、運動公園の照明は1億円、その他水銀灯が使用されているホールは700、800万円と聞いているが物価高騰もあるため再度確認する必要がある。

町長： 改修や整備は行わないといけない事業と認識している。効率よく整備し、また有効な財源を確保して行えるかがポイントとなる。

副町長： 宮水小学校のバリアフリー化は計画を変更しても大丈夫なのか。

教育次長： 宮水小学校のバリアフリー化の変更は先の入学生を見たときに現段階では変更しても大丈夫と考える。また、中学校の状況は既に発生しているため優先的に早急な対応が必要と考える。

3) 国民スポーツ大会に向けた取り組みについて

教育長： 本町では令和9年9月29日から10月1日の3日間、中学校の体育館を会場としたなぎなた競技の成年女子と少年女子が開催される。なぎなたの普及のためなぎなた教室を数回行っている。

大会開催に向けて、会場の設営、練習場、宿泊施設、食事の準備など多岐にわたり準備する必要がある。今月29日に大会に向けた準備委員会を設立する予定。共通認識のもと大会成功に向けて町民一丸となって行う必要がある。

教育次長： 国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与することを目的として行われる国内最大のスポーツの祭典である。大会の開催時期は9月中旬から10月中旬で37の正式競技と特別競技、7つの公開競技、デモンストレーションがある。

本町においても正式競技のなぎなた競技がおこなわれ、デモンストレーションスポーツとして森林セラピーウォーキングを開催する予定である。

なぎなた競技の会場は日之影中学校体育館、練習会場として中央体育館、団七の館等を考えている。参加見込み数は、438名を見込んでいる。

スケジュールは、今年度準備委員会を設立し情報収集や先催県視察を行い、本番に向けてリハーサル大会等を実施していく。

町長： このことについては、開催は決定事項で、成功に向けて準備していくものである。しっかりと準備をおこなって成功につなげてほしい。

教育次長： 来年度から国民スポーツ大会と名称も変わる。来年度は佐賀県で行われるので視察等通してイメージを固めていきたい。

町長： 町内での広報、啓発活動にも力を入れて、町をあげて盛り上げてもらいたい。

4) その他

教育次長： 今後の主な行事について説明する。第37回日之影町神楽まつりを11月11日に予定している。町内から8団体20演目を予定しており、熊本県阿蘇市の中江岩戸神楽を招聘することとしている。

令和6年第74回日之影町はたちの集いを来年1月4日に開催する。内容は今後参加者等を交えて検討していく。

第14回宮崎縣市町村対抗駅伝競走大会が1月8日に開催される。全12区間で開催され選手募集を行っており小学生男子3名、小学生女子4名、中学生男子3名 女子2名 高校生男子1名 一般1名の合計14名が応募している。今後も大会に向けて選手の確保に努めていく。

また1月21日に町の駅伝大会が予定されている。2月4日に町民のつどいを予定している。